

山下先生。

こんにちわ。暑さバ日ごとに増してまいりましたバ、先生方にはい、そうご活躍のことと存じます。

この度、1年間の支子養を卒業させ頂きました。この1年を振り返り、先生方には本当に感謝の言葉がありません。

ちょうど1年前、小学校に入学してすぐ、娘の行き渋りが始まりました。毎朝、「ランドセルが重い!」「眠い!」「行きたくない!」と泣き叫び、登校列の列に並ぶ事さえできず、学校の玄関まで、泣き叫ぶ娘の手をひっぱりながら、母子登校、という日々でした。

下校してから、母子依存、9ダね、次の日の準備をする頃は、大泣きをしていました。

このままでは、娘は不登校になってしまうのでは、ないか。しかしながら、この状況を立てなおす方法がわからない。もう自分達だけで、

どうする事もできない。学校の矢野は、「とにかく学校に連れて来て下さい。」とあらしめばかりで、

私達もどうしたら良いか困り果てていました。

そんな時、PARENTSキャンプのホームページを見付け、読んでいくと、読み終わる頃には、「もう、これしかない」と、さ、そく支子差をお願ひしました。

支子差当初は、ホームページに体験談を寄せたり、あらしめご家庭の不義に、私達の家族が変化できる事は、あまり現実味を帯びませんでした。

「まあ、ここまで良いはばらなくても、少しでも今の状況が良ければ…」という気持ちでした。

担当カウンセラーの山下先生は、かわいらしい。

あ、とりといた口言ほど、初めて電話カウンセリングをした時は、「こんな若い感じの方で大丈夫かしら…？」

なんて思ったりもしました。(山下先生、ごめんね！)

直接会って話可談ではありませんし、せめては家庭内の問題を色々話可事は抱持もありました。2、3回もすると、ぐいに个置れてきました。

「今朝、また4つき流りました。」「そんな事があります。」
と言すと、すぐに「その場合は、このように対応してま
ましよう。」と毎回、的確なアドバイスを下さる
山下先生に、全面的に信頼する気持ちをもつように
なるには、時間はかかりませんでした。

憧れないPCの対応に、始めて3ヶ月程は
自分自身の我慢との闘いでした。今まで、どれだけの
娘の可憐な手、口を出していたのか。ブレた対応を
し、良かれと思ってして来た事が、娘の自立の芽を
つんでしまっていたのだ...、私は今まで何を
していたのだろう... とそんな事を考え、涙、涙...
の日々を送りました。

すぐに子供に対し、イライラし、感情的にキツイ
をくり返す私でしたが、毎週の山下先生のカウンセ
リングと、ノートチェックにより、少しづつではありま
したが、イライラをコントロールできるようになり、
親と子の問題を分け、見ることができ、いつの
間にかキツイも減り、娘と笑顔で会話

可事バゴキる不義になり、本当に、魔法にかかった
かのように、日々が楽しくなっていました。

これまで、「何ぞ、うちの子だけ、他の親だと、
私と同じようにあいて、手出し、口出してまわに！」
と、思う気持ちもありました。でも、今では、今、
このタイミングで娘が母子登校、母子依存の
反動を現してくれて良かった、早い段階で、
ペアレンツキョウの家庭教育を学べて良かった、
あの時の決断に間違いはなかったと、バから
思っています。

娘は、1年前とは比べものにならない程、
たくましく自立し、毎日元気に登校しています。

そして私自身も、1年前と比べ、親として、子育て
を楽しく、充実した毎日を送っています。

水野元生があの、「親が変われば、子も変わる。」
その言葉の意味を身をもって感じ、教えて頂いた
1年間でした。

水く星予先生始め、担当の山下先生には、本当に
お世話になりました。

私達の家庭は先生方に救われました。
ペアレントキャンプに出会えて、本当に幸運でした。
感謝致します。

まだ、これから、色々な壁にぶち当たると思っています。
でも、その度、この1年を振り返り、先生とつくり
あげた今の私達の家庭環境の中でなら、
頑張って壁を乗り越えられると思っています。

本当に1年間、ありがとうございました。

全国を忙しくとびまわる先生方、どうか、
お体に気を付けて、益々のご活躍を
お祈り申し上げます。